

# 松浪コミュニティセンター 平成27年4月OPEN!!!



平成27年4月、常盤町テラス跡地に松浪コミュニティセンターがオープンします。主な諸室として、会議室をもちろん、音楽室や和室、調理室があり、また同建物内には、地域包括支援センター、ボランティアセンター、子どもの家が併設されます。また1階、2階には予約なしで自由に使えるフリースペースを広くとり、その1階部分には、営利を目的とせず、地域住民の誰もが気軽に立ち寄れる、その人にとっての「居場所」となることを目的としたコミュニティカフェもオープン予定です。松浪地区まちぢから協議会では、今、コミュニティカフェのオープンに向け、カフェの運営やメニューの検討などを一緒に考えてくれる仲間を募集しています。

お問い合わせは、茅ヶ崎市役所市民自治推進課まで！



## 平成26年度 松浪地区市民集会開催します

松浪地区市民集会とは、地域の様々な団体や個人、住民と行政（市長・副市長・教育長・部長等出席予定）とが一堂に会し、市政等に関わるテーマを中心に意見交換を行う貴重な話し合いの場です。

松浪地区をより良い街にするために、松浪地区についてみ

んなで話し合いませんか？  
みなさまのご参加、お待ちしております。

日時：平成26年9月13日（土）  
午後1時30分より  
会場：小和田公民館 1階 講堂



## ～松浪地区まちぢから協議会からのお知らせ～

■『まつなみだより』では、読者の皆様からご意見を募集しています。本誌への感想、普段の生活で困っていること、松浪地区のゆるキャラなど、大募集中です。

ご意見は小和田公民館内に設置されている松浪地区まちぢから協議会のポスト61、もしくは右記のアドレスまで！

↓ご意見はこちらまでどうぞ！

E-mail：siminjichi@city.chigasaki.kanagawa.jp

■自治協HP (<http://c-jichirenkyo.org/>) の「連合会ニュース」のページに「松浪地区まちぢから協議会ニュース」が毎月掲載されています。

## 松浪地区夏季スケジュール

- 7月 松浪コミュニティセンター建設工事開始
- 8月
  - 16日(土) 盆踊り大会・模擬店1日目
  - 17日(日) 盆踊り大会・模擬店2日目  
松浪朝市  
(8:00～メインマート駐車場にて)
- 9月
  - 7日(日) 松浪朝市
  - 13日(土) 松浪地区市民集会
  - 18日(木) 松浪中防災マップづくり
  - 21日(日) 松浪朝市
- 10月
  - 5日(日) 松浪朝市
  - 13日(月) 松浪地区市民体育祭
  - 19日(日) 福祉ふれあいまつり  
松浪朝市

## 編集後記

「まちぢから協議会」が発足して1年以上が経過しましたが、一般住民の皆様の「まちぢから協議会」に対するご理解が今ひとつ浸透していない様に思われます。まだ実際の活動が始まったばかりということもありますが、事務局では少しでも多くの市民の皆様に「まちぢから協議会」の活動を知って頂き参加して頂く様に、茅ヶ崎広報、回覧、ホームページなどを通じて発足の経緯や活動の内容を紹介してきました。そして今回、全戸配布の機関紙『まつなみだより』を発行してさらに情報の共有を徹底させることにいたしました。松浪地区を住み良い楽しい街にする為に、この『まつなみだより』が皆様に愛されて、自治会員以外の住民の方々も一緒に「まちぢから協議会」の活動に参加して頂ける様に努力してまいります。

(T.M.)

# まつなみだより



平成26年8月15日発行（第1号）  
発行：松浪地区まちぢから協議会



## 松浪地区まちぢから協議会会長の挨拶



会長 植松 伸擴

本年5月の「松浪地区まちぢから協議会」総会において選任され、本協議会の会長をお引き受けする事になりました浜竹一丁目自治会長の植松 伸擴です。この度本協議会の広報紙『まつなみだより』の発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

茅ヶ崎市では、少子高齢化社会を迎えて市民の生活様式の多様化や核家族化の時代に対応するため、これまでの自治会連合会に代わって新しいコミュニティ制度の導入が検討され、旧松浪地区自治会連合会でも1年間の準備・検討を重ねて昨年5月に14自治会の

会長と街づくり委員会の正副委員長を委員として「松浪地区まちぢから協議会」が発足しました。

そして、本年2月の街づくり委員会の解散にともない、5月には街づくり委員会を構成していた諸団体の代表者にも参加をしていただき、総勢30名で新たな「松浪地区まちぢから協議会」を再発足させ、松浪地区の課題は地域住民と市が協働して解決に当たるという新しい組織が実現しました。

また、発足と同時に「防災対策部会」を設置、昨年の地区防災訓練はまちぢから協議会の主催で実施。昨年9月の市民集会では43件の行政に対する要望や質問が出されましたが、その大半が防災と防犯に関連したものでした。そのため、広く市民の安全に関する課題を検討・解決するために「市民安全部会」が発足しました。

この他、防災、防犯以外にも子育て、高齢者の問題等、まだまだ身近な問題が沢山あります。まちぢから協議会の歩みは、試行錯誤の連続で遅々たるものではありませんが、皆様の力を結集して自分たちで問題解決の道を探すために、お力添えを頂きたいと切に願っています。お力添えを頂きたいと切に願っています。

## トピック一覧

- ..... 1 ページ .....
- 松浪地区まちぢから協議会 会長よりみなさまへあいさつ
- 松浪中学校校長先生より ~支えあう『支え』~
- ..... 2 ページ .....
- 松浪地区まちぢから協議会 とは？
- ..... 3 ページ .....
- 防災対策部会部会長のあいさつ 『災害時に起こり得る危険性』
- 市民安全部会部会長のあいさつ 『地域で取り組む市民安全』
- 松浪地区地域包括支援センターさざなみ ~まちぢから協議会に期待すること~
- ..... 4 ページ .....
- 松浪コミュニティセンター ~4月OPEN!~
- 市民集会のご案内 平成26年度市民集会開催決定！
- 松浪地区年間スケジュール
- 編集後記

## 支えあう『支え』

松浪中学校 校長 松本 サツ子



「人はどのような状況でも最後まで希望を持って前向きに生きられる」終末医療の仕事に携わる友人から、よく耳にする言葉だ。初めてその言葉を聞いたとき、本当にそのような気持ち

になれるのだろうかと少しばかり疑問を感じた。

友人はホスピスで仕事をしているが「人は『支え』さえあれば、前向きに、穏やかに生きられるのだ」と言う。初期のカウンセリングでは「健康なあなたに、あと少ししか生きられない私の気持ちはわからない」と言われることが多いそうだ。そのようなとき「そうですね。私にはあなたの気持ちはわからない。でも、あなたの気持ちをわかろうと努力することはできる。あなたの話を聞くことはできるのです。」と答える

のだそうだ。そのようなカウンセリングを継続すると、多くの人たちは“自分の理解者がいる”ことに気づき、生きるための『支え』を探せるのだそうだ。

友人は、患者の“苦しみ”についての理解者となり、生きるための『支え』を強くしているのだ。また、「患者が『支え』を持てることが、友人自身の心の『支え』となり、そのことが、さらに患者の心の『支え』を強くするのだ」とも言っている。

友人のこの言葉は、終末医療に限ったことではないような気がする。人間関係が希薄になりつつある社会の中で大切なことは、私たち一人一人が前向きに生きていくために“自分の『支え』とは何か”を探ることである。そして、『支え』を見いだせずにいる人たちが、他に依存するものではなく、自らの生きる希望となる『支え』を見いだすことができるよう、互いに支え合えることも必要である。

生きる希望となる『支え』が全ての人の心に存在し、その『支え』を認め合い支え合える関係が地域に築かれることを祈りたい。

## 松浪地区まちぢから協議会とは？

松浪地区まちぢから協議会（以下、協議会）は、松浪地区の代表性を持った組織であり、自治会や地区社会福祉協議会、PTAなどの地域で活動している団体や個人が一体となって地域全体で地域の課題について考えていく、地域に住む全員の話し合いの場として2013年5月に発足しました。

現在の地域の状況としては、自治会活動が活発に行われており、自治会の加入率は約80%であり、今もなお、住民同士の共助の組織として、環境や防災など、助け合いや親睦のために自治会活動が行われています。

また自治会以外の団体も、それぞれ専門的な分野の中で目的を持って活動をしており、そういった団体等を含め自治会が横の面で地区全体を牽引しながら、地域のまちづくりが行われている状況です。

一方で、昔と比べ人口の流入が増えるようになり、向こう三軒両隣といった、お互いの顔の見える関係が当たり前であった状況から時代が変化してきており、生活様式や住民のニーズも多様化し、個々の団体だけでは対処が難しく、地区全体で課題解決に向けた取り組みを行う必要がある局面を迎えています。

そうした状況における課題を解決していく仕組みとして、協議会を発足し、自治会、特定の目的を持って活動をしている様々な団体や個人が一堂に会し話し合う場をつくり、地域の横の連携を強化し、市民相互の協働を図ることにより、効率的かつ総合的に地域の様々な課題解決に取り組んでいきます。

また、協議会の事務局には市の地域担当職員が入り、運営の全体的な内容をサポートするとともに、行政との間をつないで、必要であれば課題解決に向けた検討の場から行政の担当課が入るなどし、普段の活動から地域と行政が情報共有を

行い、地域と行政が協働して、課題解決までのプロセスを地域全体で共有し、地域の実態に即した形での課題解決を進めていきます。

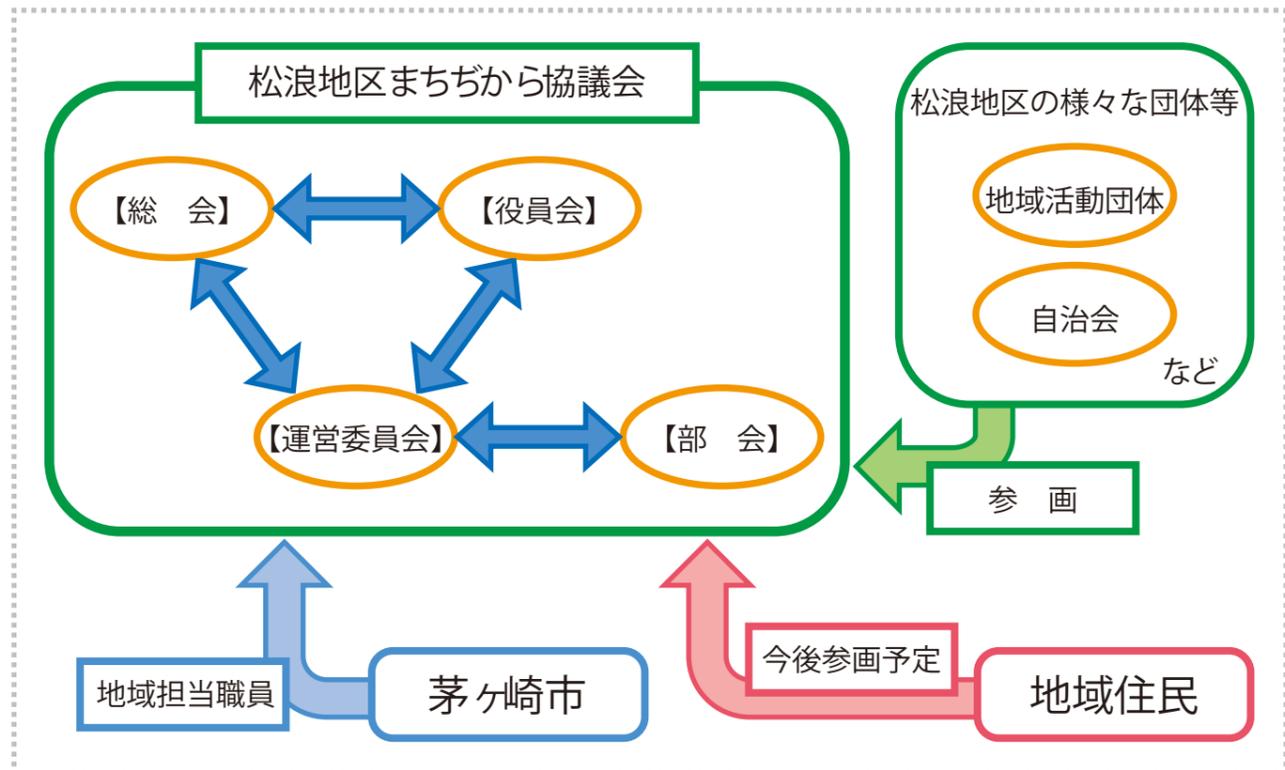
協議会の組織については、大きく分けて総会、運営委員会、役員会、部会の4つの機関があります。総会、運営委員会は協議会の意思決定機関であり、総会ではまちぢから協議会の運営にかかわる事項などについて審議・決定を行い、運営委員会では各部会で行った事業に関する報告や審議、決定を行います。役員会では各機関の調整などを行います。部会では専門的に課題ごとに協議を行い、課題解決に向けて実際の活動を担っていきます。

協議会には松浪地区の14の自治会と16の各分野の地域団体の代表、計30団体が委員として参画しており、総会、運営委員会は委員で構成し、役員会は委員のうち、会長、副会長、会計、書記で構成しています。

部会のメンバーについては、当該部会の活動に参画の意思がある方であれば誰でも参画できます。その趣旨としては、協議会を地区の代表性を持った組織とし、地区住民全員が当事者となり多様な主体が参画できる仕組みとして、部会をオープンな形としています。また、これまで、ご自分の能力を活かし地域のために何か活動を起こしたいという思いはあっても、地域との関わりを持つ機会があまりなく、活動の場を持たなかったという方にも部会に参画してもらい、地域の潜在的な思いを、部会という場で実現できればと思っています。

総会は年に一度の定期総会と必要に応じて開催する臨時総会があります。運営委員会および役員会は、月一回の頻度で開催し、各部会は適宜開催しています。

今後は、委員については団体からの参画だけでなく、地域住民から広く公募委員の募集を行うことや、部会についても、新たな部会員の呼びかけを行っていききたいと思っています。



## 防災対策部会



防災対策部会  
会長 松井 教

### 『災害時に起こり得る危険性』

私たちが暮らしている松浪地区には、災害時に起こり得る危険性が二つあります。

一つは「津波の危険性」です。茅ヶ崎津波ハザードマップに因りますと、過去の地震で引き起こされた最大の津波は、この辺りでは8mとされています。危険個所の汐見台地下道は通路が狭く浸水のおそれがあり、汐見台、緑が浜地区には50cmから2mの浸水深を想定しています。

もう一つは「延焼火災の危険性」です。この地域は災害時に火災に弱い地区だと言われています。南関東地震が発生して震度7程度の大地震が発生すると家が倒壊して火災が発生します。市内では38ヶ所で同時に火災が発生すると言われています。道路は塀や家が倒れて通行出来なくなる為、火災が発生しても消防車も来ることが出来ません。このような状態になると次から次へと燃え広がり数時間後には21,780棟の建物が燃えてしまうデータもあります。

災害時に起こり得る危険性を正しく理解して、ご自身、ご家族、地域の皆さんが「地震で死なない」をコンセプトに、防災・減災に向き合しましょう！そして、自治会防災研修会・地区防災訓練に積極的に参加をしましょう！

### ＜松浪地区防災訓練＞

日 時：平成26年11月16日(日) 午前8時～12時  
場 所：松浪中学校・松浪小学校・緑が浜小学校・汐見台小学校・松浪地区14自治会  
訓練内容：①各自治会が独自の防災訓練を企画、実施  
②避難所開設訓練

## まちぢから協議会に期待すること

### 松浪地区地域包括支援センターさざなみ



「地域で共に生きる」という活動が継続できることに深く感謝

まちぢから協議会の前身である街づくり委員会に介護の会まつなみとして関わり、現在も松浪地区地域包括支援センターさざなみとして、高齢者福祉を通じ地域住民の方々と

## 市民安全部会



市民安全部会  
会長 前田 積

松浪地区自治会連合会は、松浪地区まちぢから協議会に移行されました。

まちぢから協議会から昨年防災対策部会が設立されました。昨年度は、防災対策部会主導のもと松浪地区防災訓練が行われました。今年度は防災対策部会に続き、新たに市民安全部会の設立が提案され運営委員会において議決され発足となりました。

### 『市民安全部会とは』

松浪地区の自治会会長をはじめ、小学校・中学校及びPTA・PGT・青少年育成推進協・スポーツ少年団、子ども会、民生委員、社会福祉協議会・体育振興会・老人会・他諸団体が参加出来る部会です。

### 『部会の取り組み』

市民安全に対する問題の抽出を行います。毎年一度開催されている市民集会では、松浪地区の中で問題点等のポイントを絞り、市民自治推進課の方を交え地域の安心・安全を優先させるべき問題を行政の各課宛に投げかけていきます。

事案として、自治会・学校・PTA・PGTで行っている防犯パトロールや、学童見守り、防犯灯の点検で問題が発生した場合は、各自治会及び諸団体が解決できることはその団体長に委ねます。しかし、事案が困難な時、市民安全部会として取り組み、行政と打ち合わせをして解決策を見つけます。

市民安全部会には様々な問題が出てくると思います。地域の皆さんと一緒に取り組み、解決していききたいと思います。

しております。また、地域の方々の地域のことは自ら進んで改善に向けて行動を起こしていくという姿勢に、良い刺激を受けております。

今後、まちぢから協議会に期待することとして、一つには「地域課題の共有」があります。医療・福祉の専門職だけでは把握できない松浪地区のニーズや特性、社会資源を的確に把握することが必要です。そして二つ目には、地域課題を解決するための「地域ケア会議への参加」です。高齢者個人の課題は地域の課題でもあり、その解決への取り組みについて地域ケア会議で協議し、地域全体の生活しやすい環境作りへとつなげてまいります。

今後ともご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。